

パイロット導入&オンボーディングガイド

4週間のパイロット導入を実施する

本格導入の前に、1つのクラスで InputDojo を試すためのステップ・バイ・ステップの計画案です。

14

対応言語

3

試験フレームワーク:
JLPT, HSK, CEFR

156

イラスト付きの既製日
本語レッスン

6

対応コンテンツ: 動画、
記事、PDF、字幕、写
真、テキスト

0

全プランで広告表示な
し



教師用コース画面：インポートされた動画、記事、PDFが課題用レッスンに変換されます。

2026年9月版・数値は発行時のものです

広告なし・生徒への課金なし・データの販売なし・GDPR準拠・リクエストに応じてDPA提供

導入の前に

パイロット運用は、1つのクラス、1人の教師、そして明確な終了日を設定して行うのが最も効果的です。4週間という期間は、生徒が継続して利用するかを確認するのに十分であり、かつ本格的な導入を決定する前の試行期間として適切です。

- すでに宿題の習慣があるクラスを選んでください。パイロット運用の目的は、規律ではなく「学習への意欲（エンゲージメント）」を測定することです。
- 成功の基準（完了率、語彙の定着度、生徒のフィードバックなど）を事前に決めておきましょう。
- 第1週の開始時に14日間の無料トライアルを開始してください。残りの期間はTeacher planでカバーできます。
- パイロット運用を実施される際は support@inputdojo.com までご連絡ください。トライアル期間を4週間すべてカバーできるよう延長いたします。

第1週 — セットアップと登録

- パイロット運用を行うクラス用にコースを1つ作成します。
- 日本語クラスの場合：ガイド付きトラックの最初の3レッスンを割り当てます。事前の準備は不要です。
- その他の言語の場合：YouTube動画や短い記事など、生徒が興味を持ちそうなコンテンツを2つインポートします。
- 招待リンクをメールで送るか、LMSに投稿します。生徒はワンタップで参加できます。
- 最初のレッスンで、すべての生徒に5つの単語を調べて保存するように指示してください。

成功の目安：クラスの80%が登録を完了し、少なくとも1つのレッスンを開始していること。

第2週 — 本格的な課題の開始

- 期限を設定して、リーディングとリスニングの課題を1つずつ割り当てます。
- 1日の語彙目標を少なめに設定します（10～15語で十分です）。
- 授業中の5分間を使って、プロジェクターで復習画面を生徒に見せてください。
- 週の途中でクラスの概要を確認し、まだ開始していない生徒にメッセージを送ります。

成功の目安：ほとんどの生徒が両方の課題を完了し、日々の復習を開始していること。

第3週 — データの活用

- クラスで最も多く調べられた単語を確認し、それらを使ってクイズを作成します。
- 生徒ごとの学習時間や未知語の密度を確認し、より平易な教材が必要な生徒を特定します。
- 習熟度に応じたコンテンツを割り当てます。苦戦している生徒には易しいテキストを、それ以外の生徒にはより難易度の高いテキストを用意します。
- クラスから質問のあった文章について、AI文法チューターを試してみましょう。

成功の目安：データに基づき、少なくとも1つのレッスン内容を調整したこと。

第4週 — 評価と決定

- クラス開始時と現在の試験準備状況の数値を比較する
- 成績表とクラスの単語リストをエクスポートする
- 生徒に3つの質問をする：コンテンツは興味深かったか、復習は役に立ったか、今後も使い続けたいか
- 導入の拡大を決定する — もう1クラス追加するか、学科全体に広げるか、あるいは中止するか

成功の定義：学科長に提示できる具体的な数値が得られていること。

測定指標

指標	確認場所	パイロット運用の成功基準
登録状況	コース概要	第1週までにクラスの80%以上が参加
課題の完了率	課題ごとの進捗	第3週までに70%以上が期限内に完了
生徒ごとのアクティブ日数	クラス概要 / 分析	週に3日以上
保存および復習された単語数	クラスの語彙インサイト	着実な増加と、復習の継続
試験準備状況の変化	生徒の進捗ビュー	目標レベルに対する測定可能な進歩
生徒のフィードバック	第4週にクラスで聞き取りを行う	大半の生徒が継続利用を希望している

講師用セットアップ・チェックリスト

- クラス名に基づいたコースが作成されている
- 2つのスターターレッスンがインポートされている
- 独自の教材（教科書の写真、配布物のスキャン、自作のテキストなど）から1つのレッスンが作成されている
- 招待リンクが共有され、登録が完了している
- クラス全体で1日の語彙目標が合意されている
- カレンダーに週1回のクラス概要確認が予定されている
- カレンダーにパイロット終了日とエクスポートのリマインダーが設定されている

よくある落とし穴

難易度が高すぎるコンテンツ

未知語の割合が約15%を超えると、学習の手が止まってしまいます。インポート時に難易度インジケータを活用するか、クラスがすでに習得している単語からレベル調整されたレッスンを生成してください。

過剰な課題量

誰も終わらせられない5つの課題よりも、週に1つの読解と1つの聴解を確実にこなす方が効果的です。量よりも毎日の復習（SRS）が重要です。

データを生徒に見せていない

学習者は自身の継続日数（ストリーク）や習得状況の数値に強く反応します。週に一度、プロジェクターでこれらを表示してください。

パイロット期間中のサポート

すべての教師用アカウントで、クラスルームの全機能（コース、課題、分析、AIチューター）を14日間無料でお試しください。クレジットカードの登録や生徒ごとの費用は不要です。

- inputdojo.com/for-teachers からサインアップして、最初のコースを作成しましょう
- クラスで人気の動画や記事をインポート
- 招待リンクを共有 — 生徒はワンタップで参加可能
- ご質問、試験導入、学校向けの請求書発行について：support@inputdojo.com

お約束するサポート内容

- | | |
|---|--|
| ✓ 生徒のデータを販売することはありません
広告表示やデータブローカーへの提供はなく、生徒が作成したコンテンツが第三者のモデル学習に使用されることもありません。 | ✓ 設計段階からGDPRに準拠
ご要望に応じてDPAの提供が可能。EU/米国でのホスティング、通信時および保存時の暗号化を徹底しています。 |
| ✓ リクエストに応じたエクスポートと削除
教師は成績表や語彙リストをCSV形式でエクスポートできます。また、リクエストに応じて生徒のアカウントおよびそのデータを削除することも可能です。 | ✓ 教師による登録管理
生徒は招待リンクからのみ参加可能です。公開プロフィールや見知らぬ人とのメッセージ機能、生徒向けのアプリ内課金はありません。 |
| ✓ お手持ちのデバイスで利用可能
最新のブラウザに加え、インストール可能なスマホアプリにも対応しています。アプリストアのアカウントや、IT部門によるソフトウェア承認は不要です。 | ✓ 開発者による直接サポート
開発チームがメールで直接回答します。通常、1営業日以内に返信いたします。 |

2026年9月版・数値は発行時のものです